

1 つぎの文章を読んで問題に答えましょう。

夏の夕方、公園でバッタのはねる音やカナブンの羽音が昔より少なくなった——そう感じたことはないだろうか。「昆虫が減っている」という変化は、実は私たちの生活のすぐそばで進んでいる。

昆虫が暮らす場所を生息地という。草むら、用水路、林、畑、校庭の隅などの小さな環境がつながることで、生き物の道（回廊）ができる。ところが都市では、アスファルトの道路や高い建物、フェンスがその道を細かく切り分け、体の小さな昆虫には越えにくい「境界」になってしまう。

境界には目に見えるものと、見えにくいものがある。川と道路の段差、草地と駐車場の境目に見える境界だ。いっぽう、温度や光、音の違いは見えにくい境界をつくる。真夏のアスファルトは表面温度がとても高く、昆虫には危険だ。夜の強い照明は、蛾やホタルの行動を乱し、繁殖のチャンスをうばうことがある。

都市のセミの顔ぶれが変わった地域もある。気温や土の状態、街路樹の種類しだいで、暮らしやすい種が入れかわるのだ。チョウも同じで、モンシロチョウにはアブラナ科、アゲハにはミカン類など、幼虫の食草が必要だ。花壇に花があっても、食草がなければ卵を産めず、「花はあるのにチョウが来ない」ことが起きる。

では、都市で昆虫をふやすことはできるだろうか。答えの一つは、点を線に、線を面にすること。マンションの花壇、学校のビオトープ、川沿いの草地、民家の生け垣など似た環境が歩いて行ける距離でつながれば、昆虫は移動しやすくなる。草をすべて刈らず一部を残す「残し刈り」は、逃げ場と食事の場を守る工夫だ。夜の照明は必要な場所だけ、下向きに照らす器具や昆虫の反応が弱い光に変えるといい。農業は量や時期をしぼり、どうしても必要なところに限定する。

観察するときは、場所・時間・天気・周囲の環境

をノートに記録する。道路幅、木の種類、建物の高さ、地面の材質、光の強さなど「境界の手がかり」を書き残そう。写真は昆虫だけでなく背景も入れると、あとで環境と行動を結びつけて考えやすい。さらに、校庭の片隅と河川敷、神社の森と商店街の街路樹など二つの場所を同じ条件でくравると、境界の位置や性質が見えてくる。

気づきは行動につながる。落ち葉をすべて回収せず一部を集めた「落ち葉エリア」を作れば、ダンゴムシやカブトムシの幼虫が育つ場になる。プランターでハーブやアブラナ科の野菜を育てれば、花の蜜だけでなく幼虫の食草も提供できる。地域の清掃では、草を残す帯を提案するのも一案だ。

都市は自然と対立するだけの場所ではない。人がつくる境界の形を少し変え、小さな道を増やすだけで、昆虫は戻ってくる。足もとにある見える・見えない境界に気づき、それをやわらげていくこと。そうした積み重ねが、街を豊かな学びの場に変え、消えたように見える昆虫を、ふたたび身近な隣人してくれる。次の休みには、身近な境界を探し、見つけた工夫を友達や家族と共有してみよう。小さな行動が、街の自然を守る力になる。



(1) 次の文の「」に入る最も適切な接続詞を語群からそれぞれ選びなさい。

「都市ではアスファルトや建物が生き物の道を切り分ける。」 「小さな昆虫には越えにくい境界になる。」 「私たちが便利だと思ふ設備が原因になることもある。」

語群

そのため／しかし／たとえば／つまり

(2) 文の「」に入る最も適切な助詞を、語群から選びなさい。

- ①夜の照明は不要なもの「」消す。
- ②光を真下だけ「」向ける器具にする。
- ③農薬はどうしても必要な場所「」限定する。

語群

に／で／を／から／へ

(3) 本文の内容と合っていれば○、間違っていれば×をつけなさい。

- () アスファルトは夏でも温度が低く、昆虫の移動を助ける。
- () 花壇に花があっても食草がなければ、チヨウは増えにくい。
- () 点在する緑が線や面でつながると、昆虫は移動しやすくなる。

(4) 観察ノートに特に記録しておくべきものをすべて選び番号を丸で囲みなさい。

- ① 時間
- ② 天気
- ③ いっしょに観察した友達の数
- ④ 周囲の環境（道路幅・地面の材質・建物の高さなど）
- ⑤ 昆虫だけでなく背景も写した写真

(5) 「都市で昆虫をふやす工夫」を本文の提示順に並べなさい。

- ①夜の照明を見直し、真下だけを照らす器具や光の種類に変える。
- ②草を一部残す「残し刈り」を行う。
- ③似た環境（花壇・ビオトープ・生け垣など）をつなげて「点を線・面に」する。
- ④農薬の量と時期をしばり、必要な場所に限定する。

() ↓ ↓ ↓ ()

(6) この文章の中心となる考えを四十五字以内でまとめなさい。



- (1) 次の文の「」に入る最も適切な接続詞を語群からそれぞれ選びなさい。

「都市ではアスファルトや建物が生き物の道を切り分ける。」「**そのため**」小さな昆虫には越えにくい境界になる。」「**つまり**」私たちが便利だと思ふ設備が原因になることもある。」

語群

そのため／しかし／たとえば／つまり

- (2) 文の「」に入る最も適切な助詞を、語群から選びなさい。

- ①夜の照明は不要なもの「**を**」消す。
- ②光を真下だけ「**に**」向ける器具にする。
- ③農薬はどうしても必要な場所「**に**」限定する。

語群

に／で／を／から／へ

- (3) 本文の内容と合っていれば○、間違っていれば×をつけなさい。

- (**×**) () アスファルトは夏でも温度が低く、昆虫の移動を助ける。
- (**○**) () 花壇に花があっても食草がなければ、チヨウは増えにくい。
- (**○**) () 点在する緑が線や面でつながると、昆虫は移動しやすくなる。

- (4) 観察ノートに特に記録しておくべきものをすべて選び番号を丸で囲みなさい。

- ①時間
- ②天気
- ③いっしょに観察した友達の数
- ④周囲の環境（道路幅・地面の材質・建物の高さなど）
- ⑤昆虫だけでなく背景も写した写真

- (5) 「都市で昆虫をふやす工夫」を本文の提示順に並べなさい。

- ①夜の照明を見直し、真下だけを照らす器具や光の種類に変える。
- ②草を一部残す「残し刈り」を行う。
- ③似た環境（花壇・ビオトープ・生け垣など）をつなげて「点を線・面に」する。
- ④農薬の量と時期をしばり、必要な場所に限定する。

(**③**) ↓ (**①**) ↓ (**②**) ↓ (**④**)

- (6) この文章の中心となる考えを四十五字以内でまとめなさい。

解答例

都市の見える・見えない境界を見直し、小さな道を増やして昆虫と共に生きる必要がある。